

就労移行支援事業

就職されたお二人の近況報告

「株式会社 駿河屋魚一」様でトライアル雇用中の小谷さん
毎日笑顔で頑張っています。帰りに買い物して、家族のために夕飯作りもしているそうです。

Q：どんなお仕事ですか？

A：青果部門で野菜を切ったり、袋詰め、値段付けをしています。

Q：今どんな事にやりがいを感じていますか？

A：野菜の加工の仕事で、ネギや大根などを切っている時に正確に切ることが出来たときです。

Q：就職して困ったことはありますか？

A：特にありません。

Q：就職前までに身につけておくべきこと、学んでおくべきことはありますか？

A：休まないように健康管理に気を付けることと、自分で公共交通機関を利用できるようになることです。

Q：青空作業所での訓練の中で今役立っている事はありますか？

A：挨拶、返事、報告、言葉遣いです。朝や帰りの挨拶をしっかりすること、分からないときは確認して仕事をする、はっきり返事をする事です。

Q：最後に就職を希望している人へメッセージ

A：苦手なことも諦めず、まずは挑戦してください。



「飛洲林業 株式会社」様に就職された岡本さん
大きな機械を扱ったり、道具を使い寸法を測っています。毎日いろいろな経験をさせてもらう中で多くの事を学び、頑張っています。

Q：どんなお仕事ですか？

A：木材の板割りや端材処理など（木工工作部材の加工生産業務）です。

Q：今どんな事にやりがいを感じていますか？

A：今やらせていただいているいろいろな仕事にやりがいを感じています。

Q：就職して困ったことはありますか？

A：ないです。

Q：就職前までに身につけておくべきこと、学んでおくべきことはありますか？

A：体力をつけておきたかったです。あとは、会社ではどのような保険に入れるか学んでおきたかった



Q：青空作業所での訓練の中で今役立っている事はありますか？

A：物を大切に扱う事、周りを見て行動することです。

Q：最後に就職を希望している人へメッセージ

A：毎日目標を決め、それを達成できるように努力してください。そうすれば、次へのステップや、就職につながると思います。皆さん頑張ってください。応援しています。



飛洲林業 熊崎社長から会社ではたらくうえでとても大切なお話を伺うことが出来ました。

- 第一にケガをしないように気をつけること。
- 社会人としての自覚を持って働くこと。
- 出来たとき、失敗したときなど自分で判断せず、必ず報告することが大事。また、分からないときは何回聞きに来ても良い。ただし、最終的にはしっかりやり方を覚えるようにする。
- 経験を積み重ねる。一回、二回やっただけでは出来たとは言えない。何ヵ月も何年もかけて出来るようになっていく。
- 自分の能力を知るためにも時にはノルマも大事。作業所では納期が間に合わないと、職員が手伝うのが当たり前という考えになりがち。訓練中から納期のある仕事を経験してもらいたい。納期を示してどこまで出来るのか、またなぜ職員が手伝うのかなど理解してもらう必要がある。
- 一生懸命は当たり前。学校や作業所では、一生懸命やることで褒められたことがあるかもしれないが、社会人として働くということは、一生懸命働くのが当たり前ということを理解してほしい。



会社にとっては仕事での事故やけがが一番困ります。自分がつらい思いをするだけでなく、会社に迷惑をかけてしまうことになるので十分注意しましょう。

学生と社会人の違いは何でしょう？社会人には甘えや言い訳は通用しません。仕事に対して責任を持つことが大切です。

仕事は他の人から評価されてはじめて出来たこととなります。そして仕事は経験を積み重ねていくことが大切です。一回、二回出来たからといって自信過剰になってはいけません。何年たっても「さらに向上しよう」といった謙虚な気持ちが大切です。

最後の「一生懸命は当たり前」は私たち支援者にとっても肝に銘じなければならないお話です。普段からの仕事に取り組む姿勢が大切になります。採用して頂いた会社の皆様から、「青空作業所の卒業生は戦力になるよ」と評価して頂けるよう頑張りたいと思います。

就労継続支援 B 型事業



ボカシのひみつ

今年も沢山の方に購入いただいているボカシですが、初めて購入される方々から、「どんなふうに使っているの?」、「どんな使い方があるの?」、「どんな良いことがあるの?」といった質問がありました。そこで今回は、どんな良いことがあるのか、どんなふうに使っているのか、ボカシのひみつを少しだけ紹介したいと思います。

ボカシのひみつ その1

どんな良いことがあるのか…
それは、ボカシを使った土でつくる野菜はおいしい!!



(EM 生活 HP EM 野菜のおいしさのひみつ! より)

他の畑に比べて発酵菌と合成菌がたくさんいて、腐敗菌が少ない「発酵合成型」の土になっているからです。

ボカシのひみつ その2

どんなふうに使っているのか…
それは、利用者さんが役割分担し、お客様に喜んでいただくこと一生懸命作っています!!
今回は、袋詰め前のふるい作業の様子を紹介します。



家庭菜園で使用してみました!



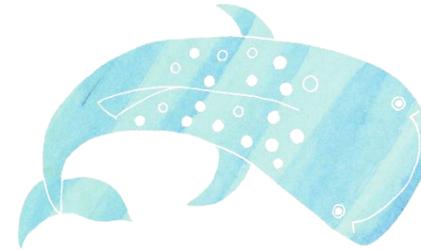
左がボカシを入れてつくったミニトマトで、右がボカシを入れずにつくったミニトマトです。同時に植えて同じ育て方をしました。ボカシを入れて作った左の方が葉っぱの緑色が濃く、苗も大きく育っています。

そんなボカシは

- 青空作業所
高山市山口町1297-1 35-1559
- アンテナショップ ふくふく
高山市片原町22番地 土・日曜日 10時 ~ 15時
にて販売しています。是非一度使ってみてください。

青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559
<http://welcomhida.web.fc2.com/>
平成30年 7月 10日発行 第37号



ご挨拶

理事長 柏木 真司

日頃より、ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所の活動に対し、ご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。またこの度、岐阜県を襲いました豪雨により被災されました方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

4月の報酬改定を受け、3ヶ月が経過しました。青空作業所は多機能型事業所であることから減収している事業と増収している事業があり、トータルで何とか経営を維持しているといった状況です。全国的に見れば、今後経営が難しくなる事業所も出てくるのが予想されます。

国は今回の改定において、就労系事業所は全国平均でプラス収支であることから、当初からマイナス改定で検討されています。私は今回の改定を一言で表すならば、メリハリ改定だと思います。要するに結果を出しているところには、高い報酬を、結果が出ていないところには低い報酬といった差を付けたということです。

国が従来から一貫して言い続けていることは、一般就労移行の促進と賃金及び工賃の向上の2点です。これは今後も変わらないとされています。その是非を問うよりは、実現に向けて取り組むことが現実的と言えます。

青空作業所がまず、取り組まなければならないのは工賃向上です。3年計画を進めていきます。B型事業利用者の豊かな生活実現に向け、自主生産品の販売拡大を行っていきます。どうか皆様、アンテナショップふくふくや福祉イベントで私たちの商品を見かけましたら、手にとっていただけたら幸いです。また、商品に関するご意見等も併せていただけたら、改善に向け生かしていきたいと思っております。何卒、よろしくお願い申し上げます。

